

千里ライフサイエンス フォーラム2026

12月フォーラム（395回）

『私たち生きものの私として生きる — 生命誌からの提案 —』

講師：中村 桂子（なかむら けいこ）先生
JT生命誌研究館 名誉館長

●開催形式：

1. 会場開催

日時：2026年12月23日（水）18:00～19:00

（どなたでもお申込みいただければ講演に参加できます）

会場：千里ライフサイエンスセンター6F「千里ルームA」

2. オンデマンド配信（講演録画収録分の後日配信）

配信対象および期間：

- ・千里ライフサイエンスクラブ会員は約2週間
- ・一般（会員以外：要申込み）は3日間

●申込方法：

当財団ホームページの「参加申込」からお申し込みください。

https://www.senri-life.or.jp/event_upcoming/forum/



千里ライフサイエンスクラブ会員とは
<https://www.senri-life.or.jp/scienceclub/>

●講演要旨：

生命科学は興味深い研究成果をあげ、医療や農業に役立つ技術を開発しています。それらの活動を高く評価しながらも、これが、人々が心豊かに暮らす明るい未来につながっているかと考えると、そこには疑問があります。気候変動、高齢社会、戦争、パンデミックなど現代社会が抱える問題を考えた時、「人間は生きもの」という素朴な事実に向き合う科学が求められていることに気づきました。

そこで、「生命誌」という知を創りました。科学が「機械論」であるのに対して、「生命論」であるところに特徴があります。「生命誌」の具体的活動によって何が見えてきたかをお話し、AIが登場した今最も関心を持っている「情報の生命誌」についても聞いていただきたいと思います。



●講師プロフィール：

1936年 東京都生まれ 生命誌研究者

学歴・職歴：

東京大学 理学部化学科卒業

同大学院 生物化学修了

三菱化成生命科学研究所 人間・自然研究部長

早稲田大学 人間科学部教授

東京大学客員教授、大阪大学連携大学院教授などを歴任

恩師 江上不二夫 東京大学名誉教授が1971年創設の「三菱化成生命科学研究所」で始めた「社会生命科学」を担当し、人間と社会を意識した生命科学の具体的な研究の構築に努めた。

その中で、生物の歴史と関係を含めた全体を知る総合知である「生命誌」を構想し、1993年生命誌研究館を創設。JT生命誌研究館副館長（1993～2002年）、館長（2002～2020年）を務め、現在名誉館長。

「人間は生きもの」という生命誌の考えを基本に置く社会づくりを目指し、土木、農業、教育など様々な分野の人と共同で活動し、これを子どもや孫の世代に伝えていく努力をしている。

学 位 ： 理学博士

著 書 ：

「中村桂子コレクションいのち愛づる生命誌」全8巻（藤原書店）、

「科学者が人間であること」（岩波新書）、

「老いを愛づる」（中公ラクレ）、

「科学はこのままでいいのかな 進歩？いえ進化でしょ」（筑摩書房）、

「人類はどこで間違えたか」（中公ラクレ） など多数

問合せ先：

公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

Tel : 06-6873-2006 Fax : 06-6873-0002

E-mail : srlf-forum@senri-life.or.jp